



**松蔭会**  
鹿児島県立志布志高等学校

# 松蔭会同窓会だより

## 令和4年度がスタート 新たに91人が入学しました。

令和4年4月7日に鹿児島県立志布志高等学校の第77回入学式が挙行され、新入学生は、1組31名、2組30名、3組30名の合計91名でした。

当日は、入学許可を受け、新入生代表の宣誓があり、新しい高校生活がスタートしました。新入生の活躍・成長を祈念いたします。頑張ってください。



ようこそ「松蔭会」のホームページへ

松蔭会のホームページを立ち上げました。

母校の現在の様子や同窓会活動のご案内、また同窓生の交流の場として、お役にたつことを願っております。全国の皆さんからのお便りや写真をお待ちしています。

松蔭会ホームページ

<https://shouinkai.com>

松蔭会LINE(ライン) 公式アカウント

携帯スマホに情報が送信されてくるLINE公式アカウントのサービスをはじめました。

身近な情報を定期的に配信することで、会員から親しまれる松蔭会を目指します。

QRコードを読み込んで「ともだち登録」お願いします。



## 令和4年度松蔭会第1回役員会開催

令和4年5月9日に令和4年度の松蔭会役員会を開催しました。

新任の松崎浩隆校長から挨拶をいただき、その後令和4年度事業計画等を協議し、令和4年度総会については、慰靈祭・総会のみ令和4年8月6日開催と決定しました。なお、本年度の役員体制については、以下のとおりです。

今年度もよろしくお願ひいたします。



### 令和4年度松蔭会総会のお知らせ

期日 令和4年8月6日（土）

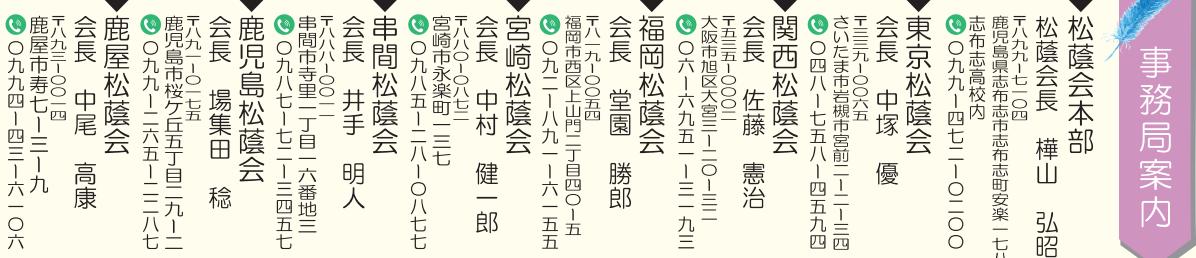
- 慰靈祭 9時～志布志高校内 忘師・忘友の碑前にて
- 総会 10時～志布志高校内教室
- 懇親会 新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止とします。
- 今年度は、昭和57年卒の皆さんに当番期として総会の準備をしていただきます。よろしくお願いします。

#### 令和4年度 松蔭会役員

役職	氏名	適用
会長	樺山 弘昭	有明地域代表・S53卒
副会長	古垣 成子	女性代表・S41卒
	川畠 充子	女性代表・S42卒
	久徳 博文	大崎地域代表・S49卒
	上原 登	松山地域代表・S50卒
	内村くみ子	女性代表・S50卒
	木村 裕子	女性代表・S50卒
	二見いすず	女性代表・S50卒
	武石 裕二	志布志地域代表・S52卒
	若松 茂富	松山地域代表・S54卒
	上村 雅彦	大崎地域代表・S55卒
監事	栗田 力 坂元 健二	志布志地域代表・S37卒 志布志地域代表・S51卒

#### 学校事務局

学校長	松崎 浩隆	令和4年度～
教頭	平田千代子	令和3年度～
事務長	池 珠美	令和3年度～
事務局	大倉 史子 向段 武志 立山 剛大	令和3年度～ 令和4年度～ 平成31年度～
当番期	津代幸一郎	昭和57年卒
"	留中 政文	"



事務局案内

## 学校長 挨拶

志布志高等学校 校長  
松崎 浩隆



松蔭会の皆様方には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。この4月に、國生校長の後任として、志布志高校校長を拝命、着任しました松崎浩隆（まつざきひろたか）でございます。

創立113年目を迎える県下でも有数の歴史と伝統をもつ学校ということで、身が引き締まる思いであると同時に、数多くの著名人を輩出している学校に勤務しているということは、我々教職員にとっても、大きな誇りとするところであります。

私事になりますが、実は父が昭和39年～昭和45年まで、志布志高校に勤務しておりまして、私はその時に、ここ志布志町安楽で生を受けております。ですので、不思議な縁を感じている次第です。松蔭会の皆様方には、樺山会長をはじめ、これまで長きにわたり物心両面からの心強いご支援とお知恵を賜り、厚く御礼申し上げます。

志布志高校の近況をお伝えしますと、今年度は1年生91名、2年生87名、3年生92名、計270名でスタートしています。各学年3クラスで、以前からすると随分少子化の影響を受けている印象ですが、3月の卒業生の合格者数（延べ数）は国公立大学が17名、私立大学が103名、短大専門学校等25名と皆粘り強く取り組み、全国各地へ進学してきました。小粒な中にもキラリと光る学校、また進化する学校を目指していきたいと思っています。

ここ2年、学校の教育活動は、新型コロナウイルスに翻弄される日々ですが、目の前の難局を乗り越えるべく、生徒諸君は柔軟に教育活動を消化しています。例えば、体育祭・文化祭の縮小開催、修学旅行先の県内旅行への変更等、形態を変えての実施を余儀なくされておりますが、生徒の成長のために何が必要かを常に考え、学びを止めるこなく教育活動を展開している状況です。

さて世界は、AI・人工知能を中心とするSociety 5.0の社会に向けて、今まで経験したことのない速さで変化しております。激変する社会に対応する人材の育成に向けて、学校と地域とが一体となった教育内容の創造が、今まで以上に必要になるとも思っております。松蔭会の皆様方には、引き続き本校教育の充実に向けてご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 松蔭会会長 挨拶

松蔭会会長  
樺山 弘昭



全国の同窓生の皆様こんにちは。令和2年度から松蔭会会長を務めている樺山です。

コロナ禍の中でなかなか思うような活動できないところですが、今回、近況を松蔭会だよりでお知らせいたしますのでご覧ください。

今年度の総会につきましては、昨年同様に、慰靈祭・総会のみの開催となりました。

同窓生の皆様の総会出席をお待ちしております。

今年の入学式で新入生に「志」と「ありがとう」の話をさせていただきました。

・・・入学される皆さんへ、「志の話」をさせていただきます。

我が高校は、志布志高校といいます。校名に、志が二つ ついておりますので、ぜひ、皆さんには、二つの志 を掲げていただきたいと思います。ひとつの志は、向上心です。

自分がどうなりたいか目標を立て、その目標達成に向けて、努力してください。

もう一つの志は、やさしさと思いやりの心です。周りの人に対する感謝の気持ちを大事にしてください。そのためには是非、「ありがとうの言葉」を使いましょう。

「ありがとう」は魔法の言葉です。ありがとうと言われて怒る人はいません。言われた方も元気になり、言った自分もなんとなく「さわやか」になります。

まずは、今日 家に帰られたら、恥ずかしがらずに、家族の皆さんに「これまでありがとうございました」と伝えてください。

「志」が あふれる志布志高校、「ありがとうの言葉」があふれる志布志高校をみんなで創っていってください・・・

コロナ禍や戦争の中、日常の生活が普通にできることに感謝しながら、また同窓生の皆さんと懇親会ができる日を楽しみにしております。

ありがとうございます。

感謝

## 志布志高校松蔭会入会式開催

今年3月に志布志高校を卒業する3年生77名の松蔭会への入会式が令和4年2月28日に開催されました。

当日は、松蔭会長の歓迎のあいさつの後、卒業生代表者から新入会員の宣言がありました。また、当日は、記念品の贈呈や松蔭会特別表彰も行われました。卒業する皆さんのがんばり未来を応援します。



## 内村浩美氏 OB 講演会開催

令和3年11月22日に、志布志高校松蔭会OB講演会が開催され、生徒・松蔭会関係者の合計約350人が受講しました。今回の講師は、昭和54年第31回卒業の内村浩美氏で、先生は、愛媛大学紙産業イノベーションセンター長（社会共創学部栄誉教授農学博士）であります。講演会のテーマは、「お札の技術と新たな紙製品開発の可能性」と題して、お札や紙製品、紙の可能性等について、実際のお札製造の過程や紙のクイズや実験をしながらの大変興味深い内容となり、参加した生徒たちからは、驚きと大きな歓声もでていました。講演のまとめでは、志布志高校時代の経験・体験が将来の大きなチャレンジ精神の基礎となり、大学以降の研究開発の前向きな姿勢につながったと話されました。最後に、人はいろいろなことができる可能性を秘めており、目標に向けて可能性へチャレンジしてほしいとのエールをいただきました。多用な中、貴重な講演ありがとうございました。



## OB講演会の講師募集について

志布志高校同窓会「松蔭会」では、学校と連携して、OB講演会を開催しております。これは、授業の一環として、志布志高校卒業生から生徒たちに講演をしていただき、夢や目標を高めてもらうための機会としております。そこで、卒業生OBの方で、講演いただける方を募集しております。自薦、他薦でも構いませんので、ぜひ、母校の後輩のためにご協力をお願いします。詳しくは、志布志高校松蔭会事務局へお問合せください。

志布志高等学校  
同窓会松蔭会 権山

☎ 099-472-0200  
☎ 090-4482-5349

## 令和4年度生徒会総会

5月13日(金), 令和4年度生徒会総会が行われました。  
昨年度の報告と今年度の計画や志布志高校生徒会の一員として, 学校生活をさらに盛り上げて良くしていくために何を改善したらいいか, などについて活発に話し合いました。



体育館での生徒総会の様子

## 2年生の総合的な探究の時間

5月12日(木), 2年生の「総合的な探究の時間」のオリエンテーションが行われました。  
今年度は「自己深化～地域の問題点を探る～」をテーマに, 「環境・エネルギー」「防災」「衣食住」「産業・文化」「健康」「教育・保育」の6グループに分かれ, 各分野についての課題を発見し, 試行錯誤しながら探究活動を進めます。



写真は武道館で説明を聞く2年生



教室でグループディスカッションをする2年生



## 「アサギマダラ」が飛来

今年も校内に渡りをするチョウとして知られている「アサギマダラ」が飛来しています。  
アサギマダラはこの時期に渡りの中継点として校内に来ています。その際に, スイセンジナの花に飛来することから, 校内には松林の中に多数植えられています。オレンジ色の小さな花の間を華麗に飛び交っています。




第3回 リレーインタビュー


昭和57年卒の津代 幸一郎さんです。

- Q 出身地、お名前、卒業年をお聞かせください？  
A 志高ではマイノリティー（少数派）の肝付町出身で、津代幸一郎（S57年卒）と申します。よろしくお願ひします。
- Q 当時の卒業生は、何人くらいだったでしょうか？  
A 8クラス329名で、1年時の出席番号並びの仲間は東大に合格しました！
- Q 高校時代の思い出をお聞かせください。  
A サッカー部で、かなり手を焼かせていました。今だとリモート学習というのでしょうか、強制自宅学習（謹慎）から戻ったら、なぜか応援団長のポストが用意してあり、3年間務めたのは人生の宝となっております。
- Q 同窓会などはありますか？  
A 過去に単発（独）で数回開催し、学年全体で同窓会として組織化してからは、50歳・55歳で開催しており、次回は、60歳の時に予定しています。SNSでつながれる時代ですので、LINEグループでは国内外の同級生に、ローカル新聞のトピックを配信して10年目になります。
- Q 現在のお仕事は？  
A 肝付町社会福祉協議会に勤務しています。
- Q コロナ禍の中で、現在どのような状況でしょうか？  
A 私たちの業界は、今回のパンデミックや大規模災害など社会的不安が起こることに、安心して暮らせるようその対応や制度設計がなされます。日々その対応の毎日です。
- Q これからの目標がありましたら？  
A 学生時代は都会で過ごしましたが、帰郷して感じるのは、住んでいる地域や場所で人のステータスや文化度が変わるのでないと思っています。ただ、現実的に地理的な不便さはあります。プライベートは、そんな地理的事情、コロナ禍や外出に支援の必要な障がい（児）者の社会参加機会やひきこもらざるを得ない子どもたちのリトライの機会作りに取り組んでいます。
- Q PRがありましたら？  
A 市町村合併後は、大隅地域単位の会議や事業等も多くなり、松蔭会OBの先輩・後輩との接点もあり心強く感じています。先般4月、本会に設立した「おおすみ地域成年後見センター」は、曾於地区も含む形で高齢者や障がいのある方の権利擁護支援にあたります。今後、啓発等に取り組んでまいりますのでよろしくお願ひ致します。
- Q 人生訓やモットーがありましたら？  
A 強制自宅学習を繰り返した時に、恩師から応援団長を命じた意図を聞かされたことがあります。それを人生の教訓として大切にしています。

Q 現役高校生にメッセージがありましたら？

A 過去に天然痘というウイルスが存在しました。長きにわたり流行し、世界中の人口が累計で半分以上亡くなったと言われています。しかし、人類が唯一撲滅したウイルスでもあり、みなさんにこのウイルスに打ち勝った先祖のDNAが脈々と受け継がれていることもまた事実です。小・中・高と友人をはじめ生活圏域が広がってきたことを実感していると思います。今後、大学や社会に出るとさらに広がります。いろいろ疲弊したり悩んだりもあると思いますが、その「レジリエンス（復元力）」がDNAに織り込まれていますよ！

第4回
リレー随筆


昭和44年（第21回卒）

奈良迫 英光

テーマ 環境は豊かな人間を育む

旧制中学の校歌に歌われている「汀に続く庭のうち、松も操の友として」の一節が大好きで、出身はどこですかと聞かれたら志布志高校卒といの一番に應えます。

通学は田舎の砂利道を8キロ自転車で通いました。当時は国鉄の大隅線、志布志線、日南線が運行され、串良、大崎、末吉、串間などから多彩な生徒が集り、多くの出会いが自分を自覚させてくれました。

扈過ぎになると心地よい浜風が松林を抜けて教室に届き、つい居眠りし何度か先生のお叱りを受けました。在校中に60周年の式典があり、早稲田大学の暉峻康隆先生の井原西鶴の話は今でも心に残っています。大学卒業後は「旅」を仕事に、47都道府県や多くの国々を巡りました。改めて日本の美しい文化を再認識する日々です。

福岡在任中に福岡松蔭会の設立を依頼され、K会長とともに奔走したことが忘れられません。

58歳の時鹿児島県庁に出向し、その後は大学の非常勤講師やアドバイザーとして、講演や人材育成、地域活性化に取り組んでいます。

高校時代の仲間と集まり、50数年前の3年間を語るとき、純粋に一生懸命に生き多くの薫陶を受けた教育環境に感謝する想いです。

母校のさらなる発展を祈念します。

## 松蔭会名譽会長に感謝

### 故原田實様の供養祭開催

(平成7年から平成22年まで同窓会長)

(令和3年3月ご逝去)



令和3年9月23日（お彼岸の日）に大慈寺で故原田實様の供養祭が開催されました。供養祭は、宮原晴朗さん（昭和36年卒）と牧原敏美さん（昭和41年卒）が発起人となり、関係者に呼びかけられたものです。

当日は、松蔭会関係・志布志高校・御家族親戚の約40名が出席され、大慈寺の石田住職からお経をあげていただき供養が行われました。

原田名譽会長は、松蔭会長を平成8年から平成22年まで務められ、いつもお元気で、志布志高校100周年事業等でご尽力されたお姿が思い出され、故人を偲ぶ会となりました。

ご冥福をお祈りし、ここに報告させていただきます。原田様のご遺族から、茶道具を志布志高校へ寄付いただきました。

※ご不明な点等につきましては、下記にご連絡ください。

発起人 宮原 晴朗 ☎ 090-3669-5213

// 牧原 敏美 ☎ 080-5804-1723

松蔭会 樋山 弘昭 ☎ 090-4482-5349



### 故一木弘文様お別れ会開催

(平成22年から令和2年まで同窓会長)

(令和3年11月ご逝去)



令和3年12月26日に専念寺伊勢堀院で故一木弘文様のお別れの会が開催されました。お別れの会は、発起人会の呼びかけにより、松蔭会・志布志高校・一陸会・生涯学習センター関係の約50人が参加され、専念寺伊勢堀院の住職による法要が行われました。

先生は、これまで、志布志高校校長、志布志市教育委員会教育長、志布志高校同窓会松蔭会長、生涯学習センター長などの要職を務められ、教育関係・生涯学習のまちづくり等にご尽力いただきました。

一木名譽会長は、松蔭会長を平成22年から令和2年まで務められ、いつもお元気で、志布志高校松蔭会活動にご尽力されたお姿が思い出され、故人を偲ぶ会となりました。

ご冥福をお祈りし、ここに報告させていただきます。※ご不明な点等につきましては、下記にご連絡ください。

#### 発起人会

樋山 弘昭 ☎ 090-4482-5349

宮ヶ原修平 ☎ 090-4993-7974



